

せんりゅうみどりかい 川柳みどり会（長野市）

・組織の活動面積	A=	95	ha
・組織の構成員数	約	500	人

組織形態	農地維持 ■	資源向上(共同) ■	資源向上 (長寿命化) ■
取組開始年度	平成19年～	平成19年～	平成28年～

構成員	農家、老人クラブ連合会、環境美化連合会、こども会育成連絡協議会
-----	---------------------------------

組織の概要

既に二、三世の昔から水稲栽培が確認され、県下最古で大規模な石川条理と呼ばれる条里制田園遺構があるこの地域は、かつては中・南信州から善光寺に至る交通の要所であり、肥沃な土壌と豊かな自然環境に恵まれ、地域の住民は先祖伝来の農地を慈しみ、互いに協働しながら自然からの恵を享受してきました。そして、時代と共に創意工夫を重ね、現在は米・果樹（林檎、桃、梨、葡萄）・野菜を中心とする農産物の生産に励んでいます。

当会は五支部、一水利組合からなり、共通する基礎活動の他、遊休地を保全するため、レンゲ・菜の花・コスモス・ヒマワリなどを栽培し、景観形成と生物の生息環境の保全に取り組むと共に、養蜂との連携により果樹の受粉効果も期待しながら、少なくなったと言われる日本ミツバチの保護にも一役買っています。

遠く古代から続く肥沃で風光明媚な川柳の地を未来へ贈る



春の農作業に備え側溝の泥揚げと法面の草刈り作業



秋の収穫の前に農業用水路の泥揚げ作業



春の播種準備、遊休地の耕耘作業



秋、遊休地に咲く満開の秋桜



蛍の生息環境の保全のため、水路清掃作業と水質検査



ゲンジ蛍のいる風景